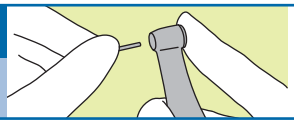
メンテナンスガイド(一般用)

タービン・コントラ・ストレートハンドピース | エアースケーラー | 超音波スケーラー

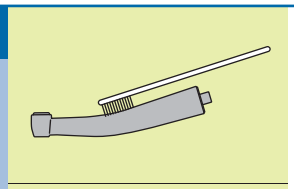
1 準備

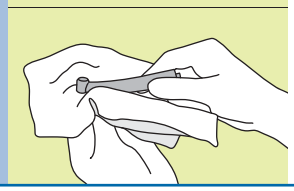


❶バー/チップを取り外します。
❷ハンドピースをモーター/カップリング/ハンドピースコードより取り外します。
※治療後、血液などが付着したまま放置されますと、内部で血液が凝固し、さびが発生する場合があり故障の原因になります。

タービン・コントラ・ストレートハンドピース | エアースケーラー | 超音波スケーラー

2 清掃 消毒





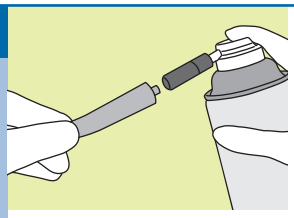
❶表面の汚れをブラシ(金属製は不可)等で払い落とします。但し、血液等が付着している場合は、38℃以下(ぬるま湯)の流水で外装についた血液等を落とします。
❷消毒用アルコールを染みこませた綿等で丁寧に拭き取ります。

※清掃/消毒を行う際には適切な防護服を着用する事をお勧めします。
※超音波洗浄器による清掃/消毒は機器損傷の恐れがあるので行わないで下さい。
※ハンドピース表面の汚れを流水で洗い流す際は、ハンドピース後部より水が内部に入らないようにご注意下さい。
水分が残った状態で注油を行うと、注油の効果が損なわれるだけでなく、内部腐食等の発生する原因となります。

このマークが付いているナカニシ製ハンドピースは熱水洗浄器(ジェットウォッシャー)による洗浄/消毒に対応しています。
ご使用の熱水洗浄器の取扱説明書に従って行って下さい。
※熱水洗浄器を使用する場合は、洗浄後に十分乾燥させて、内部の水分を取り除いてから注油をしてください。
水分が残った状態で注油を行うと、注油の効果が損なわれるだけでなく、内部腐食等の発生する原因となります。

タービン・コントラ・ストレートハンドピース | エアースケーラー | 超音波スケーラー

3 注油



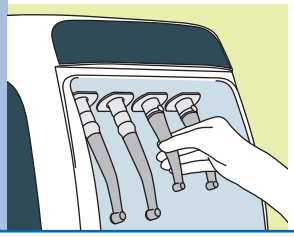
■パナスプレープラスでの注油

❶パナスプレープラスのノズル部にスプレーノズルをしっかりと差し込みます。
❷スプレーノズルをハンドピース後部に差し込みます。
❸ハンドピースを押さえて、ハンドピース先端よりオイルが出るまで2~3秒スプレーします。注油は先端から異物等の汚れが出なくなるまで繰り返し行います。

■チャック内の清掃(目安:週1回)
※FGバー使用製品の場合

❶パナスプレープラスのノズル部にチップノズルを取り付けます。
❷プッシュボタンを軽く押しながら、バーの取り付け穴へ直接スプレーします。

※チャック内の清掃は注油の前に行って下さい。



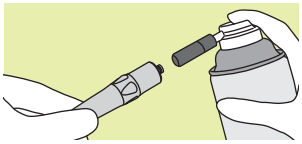
■自動注油システムCare3Plus/iCareでの注油

付属の取扱説明書をよく読んだ上で、使用してください。

■S970シリーズへの注油

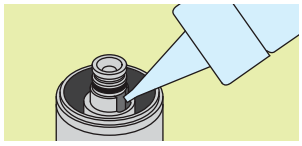
❶パナスプレープラスまたは自動注油システム(Care3Plus/iCare)による注油を行います。
❷注油後はオイルが出なくなるまで空運転を行います。

※iCareをご使用の場合はLモードで注油を行って下さい。
※Care3Plusをご使用の場合はロングモードで注油を行い、注油後はオイルが出なくなるまで空運転を行って下さい。



■S950シリーズへの注油

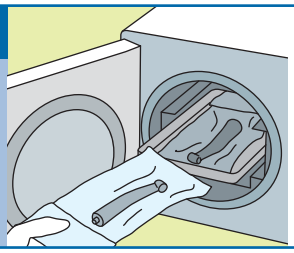
❶付属のタービンオイル2~3滴をエアースケーラーの吸気口に垂らして注油します。
❷注油後は5秒以上の空運転を行います。



超音波ハンドピースには注油を行わないで下さい

タービン・コントラ・ストレートハンドピース | エアースケーラー | 超音波スケーラー

4 滅菌



滅菌パックにハンドピース類を収納封印し、以下のいずれかの条件でオートクレーブ滅菌を行います。

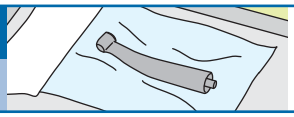
[滅菌条件] 134℃で3分間以上/132℃で15分間以上/121℃で20分間以上

※ご使用のオートクレーブ滅菌器の取扱説明書に従って下さい。
※オートクレーブ滅菌前は、必ず十分な洗浄/注油を行って下さい。
※乾燥工程において135℃をこえてしまう場合は、乾燥工程を省いて下さい。

135℃ このマークの付いているナカニシ製ハンドピースは最大135℃までの繰り返し滅菌に対応しています。

タービン・コントラ・ストレートハンドピース | エアースケーラー | 超音波スケーラー

5 保管



滅菌終了後は滅菌パックのまま清潔な場所で保管します。

株式会社ナカニシ www.nsk-nakanishi.co.jp
お客様相談窓口 受付時間(土日祝日を除く) 9:00~17:00 0120-7242-56
PR-D909 Ver.3